

クマの被害に遭わないために

クマを引き寄せないために

基本的にクマは、木の実などが主食の温厚で臆病な性格の動物です。人間に気がつけば、自ら逃げたり、身を隠したりします。クマの被害を防ぐためには、「クマを引き寄せない」「出会わない」ことが重要です。

▲果物・野菜を屋外に放置しないでください

- ・屋外に放置された果物や野菜は、クマを引き寄せます。落下した果実や野菜くずを放置しないようにしましょう。
- ・不要な果樹は伐採しましょう。
- ・ペットフードの放置にも注意してください。

▲ぬか漬けなどの発酵食品・ペンキ・ガソリンなどの匂いの強いものを屋外に置かないでください。

- ・発酵食品、肥料、塗料、燃料等の「匂いの強い」ものはクマを引き寄せます。物置などの屋内に保管しましょう。

▲定期的な草刈りで見通しの良い環境を作りましょう

- ・人とクマの生活圏を区別しましょう。



※参考画像

クマに出会わないために

▲鈴やラジオなど音のでるものを携帯し、クマに人の存在を知らせましょう。

▲早朝、夕暮れ時はクマの活動が活発になる時間帯です。目撃情報がある地域では注意してください。

▲山沿い、川沿いを一人でウォーキング、ランニングをされている方は、人が多いルートを選ぶことも検討しましょう。

県や市のホームページを確認し、目撃情報等の多い場所の通行は避けましょう

- ・クマの出没情報の速報をXで確認できます。
プッシュ通知を受け取ることもできますので、ぜひ登録を。
- ・クマの出没情報をマップでご覧になれます！（令和6年11月28日～）
クマとの遭遇を避けるため、ぜひご活用ください。



Xのフォローはコチラ ▶



Xのプッシュ通知登録方法はコチラ ▶



クマ出没マップはコチラ ▶



クマに出会ったときは

●クマに出会ったら

- ・クマを驚かさず、不用意に近づいたりせず、背中を見せず静かにその場を立ち去りましょう。
- ・子グマを見つけたらすぐにその場を離れましょう。
- ・安全な場所についたら、市役所に連絡してください。

●クマが向かってきたら

- ・両腕で顔面や頭部、首元を覆い、うつぶせになるなどして大ケガになるのを防ぎましょう。
- ・クマ撃退スプレーは最後の手段 スプレーはクマの顔に向かって当てないと、かえってクマを刺激する場合があります。スプレーを持っているから安全ではなく、遭遇しないようにすることが重要です。それでも身を守るためには躊躇せず使用しましょう。



※背を向けず、
静かに後ずさる



市内の近況は？

○今年の市内でのクマ目撃情報は、例年並み（山あいの地域で6件）となっており、人身被害も出ていません。
（11月中旬時点の情報です）

○早川町から北杜市にかけての南アルプスの山々には、推定180頭が生息しているとされています（令和2年山梨県調査）。

●クマの生態

オス：体長 120 ～ 150 cm
体重 60 ～ 110kg
メス：体長 100 ～ 130 cm
体重 40 ～ 70kg

春 冬眠から目覚める
夏 繁殖期（分散期）
秋 冬眠への準備
冬 冬眠（メスは2月頃に出産）

お問合せ／農政課（平日）☎282-6207（休日・夜間）☎282-1111

※このページは、環境省・山梨県の情報をもとにお知らせしています